

5 プロジェクト第5号の取組

- (1) 連携先 東京未来大学 心理学コンサルチーム
(2) プロジェクト名

「特別支援教育における ICT/遠隔技術を利用した巡回相談プロジェクト」

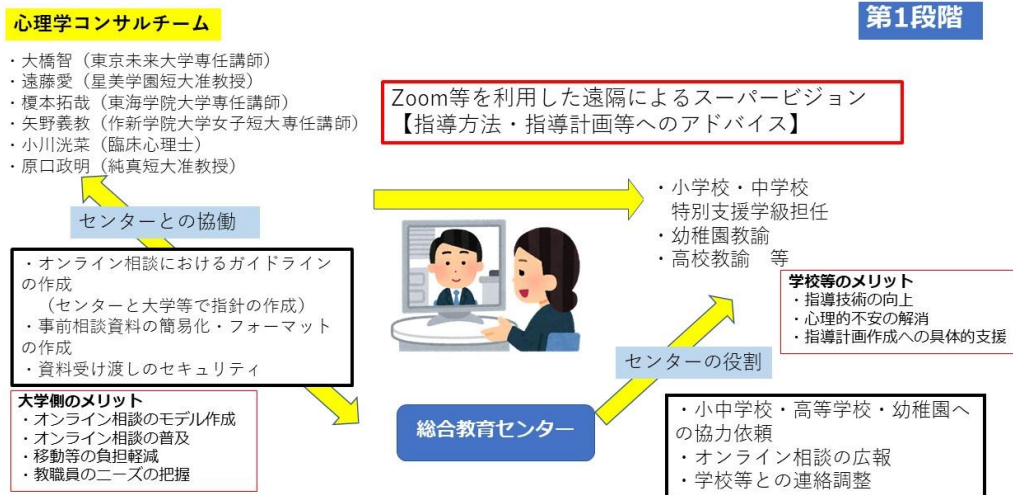
- (3) 期間 令和3年8月～
(4) プロジェクトの目的

ICT/遠隔技術を用いた特別支援教育における巡回相談モデルを作成し、総合教育センター指導主事などとも連携し、より県下の教育実践支援が充実するよう支援を行うことを目指す。

- (5) プロジェクトの計画

時期	取組内容	詳細	センターの関わり
R3.2～5	特別支援学級の担任への教職員支援	Zoom 等を利用した遠隔会議によるスーパービジョンを実施	地域の小中学校・高等学校への協力依頼
R3.6～8	タブレット端末を利用して、学級の状況の観察とそれに基づく遠隔巡回相談活動の実施	タブレットによる観察を試行し、その方法の検討を課題の洗い出し	地域の小中学校・高等学校への協力依頼。 個人情報保護に関わる助言
R4.4	地域における巡回相談カンファレンス	地域の小中学校・高等学校などを対象としたカンファレンスの実施	地域の小中学校・高等学校への協力依頼・リクルート

特別支援教育におけるICT/遠隔技術を利用した相談プロジェクト



▲プロジェクト第1段階についての流れ

(6) これまでの取組

この特別支援教育における巡回相談での ICT/遠隔技術の活用を目的として、1)特別支援学級担任への遠隔スーパーバイズ、2)通常学級への巡回相談の代替としてのタブレットによる観察と相談活動の実施を行うものである。第1段階として、特別支援学級の担任への教職員支援の一環として、Zoom等を利用した遠隔会議によるスーパービジョンを実施する。この活動の中で、遠隔相談における相談方法の検討および課題の洗い出しを行う。第2段階として、タブレット端末を利用した学級の状況の観察とそれに基づく遠隔巡回相談活動の実施を行う。特別支援教育における巡回相談では行動観察が必要となるが、児童生徒の行動場면을観察することは専門性が求められる内容であるとともに、時間の調整等の負担も高い。それらを軽減するため、タブレットによる観察を試行し、その方法の検討、課題の洗い出しを行う。

令和3年度は、第1段階の仕組みづくりについて、オンライン会議で協議し、令和4年2月から試験的にオンラインでの相談業務を開始する予定である。

▼遠隔によるスーパービジョンのイメージ

Zoom等を利用した遠隔によるスーパービジョンのイメージ

「Zoom for Healthcare」を活用し、セキュリティを確保する。

※電子化した医療情報に関するプライバシー保護・セキュリティ確保について定めたアメリカの法律「HIPPA(Health Insurance Portability and Accountability Act)法」に準拠しており、高い安全性が担保されているサービスとされている。

